



2023年8月16日

日本鉄道労働組合連合会

78 回目の広島「原爆の日」平和行動に参加

平和の尊さを感じ、核兵器廃絶の決意を確認！

8月6日、広島が78回目となる「原爆の日」を迎えるにあたり、JR連合は8月5日～6日の2日間、広島市内各地で開催された集会や慰霊式等にJR西労組及びJR東海ユニオン、貨物鉄産労の組合員、JR西労組出身の柿本忠則広島県議（JR連合地方議員団連絡会所属）の約30名で参加。参加者は原子爆弾の犠牲となった多くの方々を悼むとともに、核兵器廃絶と世界の恒久平和の実現に貢献すべく取り組む決意を全員で確認し合った。



ピース・ウォークを通じて平和の尊さを改めて認識

8月5日には、連合「2023 平和行動 in 広島」に参加した。「ピース・ウォーク」では連合広島のスタッフによるガイドを受けながら、原爆ドームや平和記念公園内の慰霊碑



核兵器廃絶の必要性を強く訴える
連合芳野会長

を巡ったほか、本年5月に開催された「G7広島サミット2023」にて各国首脳が訪れた原爆資料館を見学し、被爆の実相に触れ、核兵器がもたらした悲劇や戦争の惨禍を学んだ。その後、市内で開催された「連合2023 平和ヒロシマ集会」に参加。集会の冒頭、主催者代表として挨拶に立った連合の芳野友子会長は、今なお世界が核兵器の脅威にさらされている現状に触れたうえで、「広島で開催されたG7サミットでは、『核軍縮に関するG7首脳広島ビジョン』が発表されたが、核兵器数の削減努力の継続を柱とするものの、『核兵器のない世界』の実現に向けた具体的な道筋は示されず、核兵器による抑止力を事実上肯定したことは非常に残念」と指摘。日本政府に対し唯一の戦争被爆国として核軍縮と核不拡散の強化

に向けた外交努力を粘り強く続けるよう求めるとともに、「連合も活動をより一層強化していく。誰もが心の底から願い続ける『核兵器廃絶』と『恒久平和の実現』に向け、ともに頑張ろう」と述べ、取り組みを進める決意を示した。



被爆し亡くなった鉄道職員を悼み
恒久平和の実現に向け決意を固め合った

平和記念式典が行われた「原爆の日」8月6日には、「国鉄原爆死没者慰霊式」に参列し、遺族代表やJR関係者とともに、被爆し死没された私たちの先輩である鉄道職員314柱の御霊を祀る慰霊碑に献花し追悼を行った。

今もなお、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻、核兵器使用に対する懸念は払拭されておらず、世界各地においても平和と安全が脅かされる戦争や紛争が発生している。JR連合は、綱領に掲げる通り、世界平和の実現に向け、連合をはじめ、理念を同じくする国内外との労働者と連帯して取り組んでいく。